

●木津川希少種植生調査管理業務 イヌナズナ生育地の刈草の収集と除去運び出しは19日に完了。

8袋が満杯になりました。明日は降雨の心配があるという暖かい天気でした。深田さん太田さん山村の3人が時間に集合、11時過ぎまで集積作業でした。蔓が広く根付き、熊手によるかき集めには非常に苦勞しました。加茂の小谷でも苦勞しましたが、八幡のこの場所は格別に、はびこっていました。粘り強くかき集め作業をして1時間も経過してしまいました。随分と体力を消耗しました。なかなか思うように袋入れが進みませんので、通りがかりの散歩者に「頑張っているのですが、クズで苦勞しています。枯草の袋入れを手伝っていただきたい」と呼びかけました。快く手伝っていただきました。私たちより若いみなさんでしたので、たちまちのうちに集積袋詰めが完了です。積込み作業では少し疲れが取れず、積み上げられました。農園に運びこみました。先に出発した太田さんは作業を早く終わろうと、車を突っ込み過ぎて、身動きが取れなくなりました。ほんの少し手前だったらよかったのですが、欲が出たようです。それでも太田さんの頑張りはすごいものでした。ご苦勞様でした。翌日はタヌキマメのところを予定していましたが、朝から終日降雨でした。仕方なく作業は中止となりました。

●22日(月)カスミサンショウウオの生息池の斜面の上にある巨大なナラ枯れ木を12月25日に金田さんと太田さんが伐採をしていただきました。その巨木が池に落下しており雑木も共に倒れているのを除去する計画で、午前中には7人が力を合わせました。正午前には八千代エンジニアさんの山田啓介さんや有田さんの若手が駆けつけてくれたので、作業力は倍増して、能率よく作業が進みました。太田さんが5~60cmの太いものを手早く玉切りしてしまうので、どんどん処分が進みました。見通しでは明日も作業を予定していましたが、14時30分には予定していた以上に整理整頓が進みました。巨木の持ち出しを考えて運び出しの通路の整備も計画していましたが、伐採材木を足元の悪いところの木柵通路に使用したので、一挙に出来上がることになりました。かなりたくさん倒れていた竹も片付き見栄えが良くなり明るくなりました。どんどんことがはかどりますので、皆さん張り切ってくださって、素晴らしい整理整頓ができました。ご苦勞様でした。作業が一段落したので、太田さんと山田さんと金田さんや森島さんが水温や水位などの自動測定器の備え付け、獣害などで侵入してくる生き物を撮影するカメラの設置も完成させていただきました。これで一応自動測定が可能になりました。疲れておられるのに頑張ってくださいました。

●里山の作業が少し早めに終わったので、有田さんと山村は16時から約2時間木津川の希少種であるカワラサイコの生育地の草刈を行いました。今回の最終除草地で、2時間ほどで130m以上の河原を15mの幅で刈り取りました。あともう少しというところでしたが、冬至から一か月が経過して少しは夕暮れが遅くなりましたが太陽が西に沈みましたので、ここで終了としました。ハンマモアのエンジンオイル等の交換時期でもありましたので各種の点検も併せて、農協の工場に運んで点検修理をお願いしておきました。

●2018年度の木津川希少種生育調査管理業務を受注出来まして、冬には計画27か所の管理地に6か所の刈残し地を2017年の発注数量に加えて除草作業を行ってきました。ところが2018年度の草刈業者の方々は7か所を刈残されてしまいました。数年前に刈取り時期の調整を指示し場所の明示杭が残されていた場所で、希少種が生育していた場所でした。広い堤防にモヒカン刈りの状態で刈り残っていました。このまま放置することはあまりにもお粗末すぎるので、里山の会が除草を行いました。これが次年度の除草カ所として追加する場所7か所です。除草面積15000㎡を超える面積にな

ります。2019 年度はこうした場所の生育調査を確実にを行い最終資料を完成させなければと考えています。全箇所は 36 か所なので、できるだけ大勢の人数で受け持ちを少なくして取り組まなければならないと思います。できるだけ多くに皆さんが御参加頂き、故郷の川木津川を大切に美しい川にする仲間の輪をさらに大きくしなければと思いました。

●**桜谷先生の助言に従って**、21 日にカスミサンショウウオの上の池に気温、水温、水位を測る装置を設置しました。気温、水温は「おんどとり」という小型の機械で 1 時間ごとの温度を、内蔵電池で 1 年半の間測定できます。水位はアルミ製の大きな物差しをパイプに取り付けて、カメラで 1 日 1 回撮影することにしました。このカメラには赤外線センサーが付いており、近づいてきた動物を撮影することもできます。下の池には赤外線センサーの付いたカメラのみを設置しました。

気温、水温を測る「おんどとり」は、スマホのアプリを立ち上げて近づく（10m くらい）とブルートゥース通信で自動的にデータを取り出してくれ、またスマホから自動的に「おんどとり」の会社のサーバーに送ってくれます。ですから、どこからでもインターネットでこのデータを見ることができます。このサーバーの URL と、閲覧用 ID、パスワードは里山の会までお問い合わせください。

カメラのデータは SD カードを月に 1 回は取り換えに行って、データを持ち帰る予定にしています。

●**プラスチックごみについての講演会**が 27 日(日)京田辺市中央公民館で「木津川沿川活動団体交流会」として開催されます。参加費無料なので、気楽にご参加ください。数年前から話題になって各地での取り組みが始まっています。今回木津川沿川活動交流会では京都での運動の第一人者であり、研究や実践の先頭に立っておられる原田さんがお話をされます。

●**様々な団体の活動交流会**が近畿エコネット主催で 2 月 22.23 日(木・金)に兵庫県篠山市で 100 人以上の皆さんが集合して、活動経験の交流を図る取り組みの案内が届きました。これまで随分とお誘いがありました。以前は生駒山で開催されていました。今回は兵庫県篠山市でパナソニック労働組合の施設での開催です。里山の会は有田勉さんの腹話術人形での活動紹介の発表で参加申し込みを行いました。発表時間は 17 時から 19 時に割り振られています。宿泊交流会ですが、里山の会は 24 日(土)に南山城村での地域説明会を計画していますので前日準備もありますので、前日 22 日のみの参加となります。現在、発表シナリオの作製を有田さんにおこなってもらっています。リハーサルを 2 月 9 日の井手町での地域説明会の場で予定しています。ご観覧いただき感想をもらってさらにシナリオの改良を図る予定です。

●**2018 年度の地域説明会の日程が決まる** 今年も「木津川はどんな川」の地域説明会を、山城の町村 5 か所での開催になります 2 月 9 日(土)井手町 勤労者福祉会館、 10 日(日)久御山町 中央公民館、 11 日(月・祝月)精華町 けいはんな記念公園研修室、 16 日(土)笠置町 産業振興会館、 24 日南山城村 やまなみホールとなりました。いずれの会場でも午前 11 時ごろからミニ講演会を予定しています。地元有名人にご出演を依頼中です。また午後 1 時から約 2 時間程度の現地案内も計画しています。これは各自の自家用車で移動となります。自家用車でのご参加をお願いいたします。内容などはニュースで随時お知らせいたします。